

Time X Space

クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2021年11月30日基準

★「確かなもの」への投資

10月の月次レポートで、マスコミやネットを含め様々な情報が溢れ、何が本当の情報かわからない世の中で、正しい情報を見出す一つのヒントとしてFollow the money(お金の後を追いかける)というお話をさせていただきました。表面的に言っている美辞麗句ではなく、実際のお金の動きの中にこそ真実があるというものでした。

この真実を見出すことも重要ですが、様々な情報や知識を正確に判断するためには、その判断の土台となるものが必要になります。それが絶対的に「確かなもの」だと思っています。投資においても、長期に確実にしつかりとした投資を成功させるには、この確かなものを基準にすることが不可欠です。では本当に確かなものとは何でしょうか。

世の中には様々な情報が溢れています。本当に確かなものと断言できるものはないと、そうあるものではないと。一見本当のように見えても、多くが検証してないか、検証出来ない一つの仮説にすぎない場合がほとんどでしょう。またいつでも、誰でも、何処でも適応できる普遍的なものはないと、限られると思います。

そんな中で、私が「確かなもの」と考え、物

たねころ山の冬支度



事の判断の土台にしているものが三つあります。まず思いつくそのうちの二つが「生

と」と「いつかは必ず死ぬこと」です。これは古今東西、すべての生物(場合によっては、天体や、様々な物質も)において普遍的に言えることだと思っけています。どんな金持ちであれ、どんな有名であれ、生まれ、いつかは死んでいく。ただここで忘れていけないことは、自分が生まれるまでに、気の遠くなるような時間が存在したことも事実であるということです。宇宙が誕生し、地球が生まれ、そして生物が誕生しました。生物が誕生したところから勘定しても38億年も経過してはいますが、我々の先祖は生存が困難な様々な環境を乗り越え、有性生殖になってからは様々な出会いを繰り返しながら、命を継承し自分がこの世に誕生しました。また、当たり前ですが、自分が死んだ後もこの世の中が継続していくことも確かです。自分はいつかこの世からいなくなりますが、その後も(たとえ地球が消滅したとしても)この世が全く無くなることはありません。つまり「生まれたこと」と「死ぬこと」はその前と後ろの時間を含めて確かだということです。企業の哲学においても、このようなしつかりとした土台に基づいた考え方が必要な時代になってきており、そうでないと長期の繁栄は難しいと思います。

さらに、この「生まれたこと」と「死ぬこと」と同じくらい確かなことがあります。それは何かというと「変化していく」ことです。宇宙に存在する全ての物質や生物においてそのままでの姿をとどめることは無く、時間とともにあらゆるものが刻々と変化していています。これもまた真理でしょう。

経済が沈滞していた平成の30年間ですら、凄まじい勢いで時代が変化し、人々の価値観も大きく変化していきました。この変化は、川の流れる例えられるかもしれませんが、川でも様々な支流は川筋が変わったり、水が枯れたりするけれど、大河の川筋はそう頻りに代わるものではありません。しかも凄まじいエネルギーが充満して

いかなる大企業もこの流れに逆らえばひとたまりもありません。例えば、コダックという世界的な超優良企業もフィルムにこだわった為、あっという間に消えていきました。有名な話ですが、デジタルカメラを開発したのはコダックの技術者スティーブ・サツソンでしたが、経営陣が「こんなものが普及したらフィルムが売れなくなる」といつてポツンにしてしまったとのこと。

逆にこの流れにうまく乗り、変化のエネルギーを活用できれば、わずかな努力で企業は急成長していくことができます。かつてテレビ東京の番組「快進撃カンパニー(1986-1991年)」でメインキャスターを務めた日経の池田正義編集委員(当時)は、「どんなに社長や社員が優秀でも、快進撃カンパニーにはなれないが、時代の変化の流れに乗った企業は優秀な人間がいなくてもなれる」とおっしゃっていました。企業経営者にとって、時代の大きな変化を察知し、その流れのエネルギーをどう企業に取り込むかが最も重要な役割だということです。

長期投資においても、相場の動向以上に大事なのが、この時代を追い風に出来ている企業をいかに発掘するかです。

いよいよ2021年もあとわずかになってきました。今年も我々を信頼、応援下さりまことにありがとうございます。来年もさらに良いファンドマネージャーを世界中から選び出し、快進撃ファンドを発掘していきたいと思ひます。

それでは皆様素敵な新年をお迎えください。



多根幹雄



11月の市場は再び不安定な相場になりました。中国のハイイールド市場が、中国の恒大集団が与えられた猶予内に支払い義務を果たしたことで安定するなど、出だしこそ良好なスタートを切ることができました。結果、MSCI世界株式指数は史上最高値を更新しました。日米の自動車メーカーのコメントに見られる変化から判断するに、供給のボトルネックは改善し始めているようです。コンテナ運賃は10月におよそ10%、11月に9.8%低下し、輸送を巡る需給のひっ迫も幾分緩和され始めているようです。



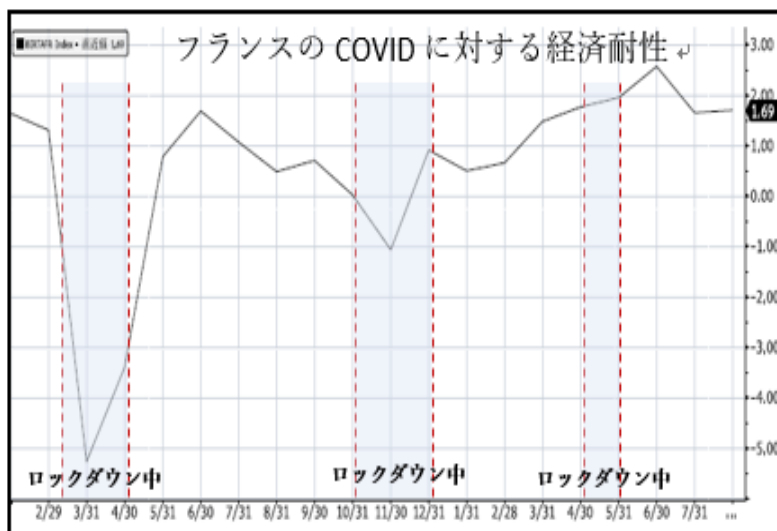
Source: Bloomberg

しかし、同世界株式指数は、パウエルFRB議長による「大規模な量的緩和の縮小ペースの加速を進める」との発言や、新型コロナウイルスの新しい変異種オミクロンなどが売り材料となり、11月16日に758.86の史上最高値を付けた後、ピークから一時4.3%を超える下落となり、結果同月は2.5%を超えるマイナス幅での着地となりました。

オーストリアなどの一部の国でロックダウンが実施されるなど、再び不自由な生活環境を余儀なくされるとの懸念から、すでに割高感が意識されていた株式市場は投資家の利益確定売り呼びました。しかし、最も影響を受けたのは原油市場でしょう。需要見通しの下方修正と1日あたり40万バレルの増産決定を受けWTIは20%以上下落しました。

興味深いことにニューヨーク連銀総裁は、新型変異種による経済活動低下を否定するタカ派的な声明を発表しました。実際にフランスでの最近の状況を見ると、過去3度にわたるロックダウンを経て、ロックダウンが経済活動に与える影響は徐々に軽減されていることが伺えます。人々はGDP成長への影響を最小限に抑えながら、「ビジネス」を継続する方法を見出したように見えます。「歴史は繰り返す」といいますが、仮にそうだとするならば、前述のように供給のボトルネックによるインフレ圧力が経済に与える影響はそれほど大きくならない可能性があります。経済活動は見込みほど悪化せず、投機筋の売りは減少するのではないかと。こうしたシナリオが投資家の中で広く受け止められ、実際にそのような状

況が確認されれば、金融市場にとっては明るい材料になることでしょう。とはいっても、市場は年末のホリデーシーズンに向けて、楽観と悲観が入り混じった神経質な値動きが続くそうです。



Source: Bloomberg



樋口恭信

★ファンド仲間から

「長期投資で悠々自適に」

TimeSpace『ファンド仲間2017年6月30日号』で私の長期投資との出会いで寄稿させていただきこの度再登場の依頼を受け13年以上に渡る私の長期投資を振り返りたいと思います。

人生100年・年金2000万円問題などメディアで騒がしく報じられていますが大変なのは、超高齢社会の人生を楽しく健康的に過ごしていくにはお金の心配が無いように暮らしの設計⇨資産形成を通じて老後資金が枯渇しないようにと資産寿命を把握しそれを延ばす事だと思います。

私の場合は、健康を害し現役を余儀なく退き年金受給までの繋ぎも含めてコツコツと貯めた小金で資産形成作りを始めました。

1) 失敗

現役時代、運と度胸の個別株投資経験があり投資信託なんてまどろっこしいと考えていましたが直販投資セミナーを通じて知れば知るほど直販投信に勝る資産形成作りはないと確信しもっと早い時期に始めておればと悔やむ次第です。

2) 反省

アベノミクスで直販投信2ファンドを少し利益確定し得た資金をプールし積み立ての増額やスポット取引に振り向けました。

積立投信で時間を味方にし、大きな流れを掴んで下がったらスポット買いの併用で時間分散を行い投資対象の分散は、直販投信組入れ銘柄(ファンド)をバランス型・大型株型・中小型株型・債券型・究極の分散

投信型・外国株型などの手前勝手なカラー付けで分散投資を行い適宜配分の見直しを行い下がっても持ち続けられ、下がったら買いたくなるファンド選びを心がけましたが小細工をせず信じて託すのも一考かなと思います。

雪だるまは、転がせば転がる程、大きく成長するが如くと思ったりします。

3) 改善(将来)

悠々自適生活への道のり

- ・増やすことより減らさない運用を目指す。
- ・資産の寿命を延ばす。老後資金はいつまでもつか。
- ・資産寿命をいかに伸ばすか。

・ある人曰く『お金は、寂しがり屋さん』
あるところに自然と寄ってくる。

長期投資を振り返って思うことは、将来への期待や成果を届けるファンドであるかどうか必要な事ですが多くの仲間たちを支え支えられる10数年だったと思います。
多くの仲間たちと歓談を通じて苦楽を共にし資産形成を積み重ねる時間は、大変貴重で有意義なものでした。

これからも長期投資積み立て投信を通じて坂の上の雲である悠々自適生活への道を一步また一步と歩んで行く所存です。



*姪っ子とその娘さんのお誕生日祝いの食事会

天本秀連

天本さん、結構コワモテ感のある方ですが、若い女性に囲まれると、一気にやわらかい表情になってしまいますね。
私も周りから、そういう風に見られてるんじゃないでしょうか。

磯野

11月のマーケットの概要

11月の米国株式市場は、月初のFOMCで、早期利上げの可能性がなくなり、また米国下院は11月5日、超党派のインフラ投資計画法案が、賛成多数で可決した事を受けて大きく上昇しました。しかし、中旬以降、需要の急拡大に対し供給がボトルネックとなりインフレ懸念が大きくなる中、最高値を更新してきた株価が調整し始めた矢先、南アフリカで見つかった新型のコロナ変異株が世界各地で確認されたというニュースが報じられ、大きく下落しました。

一方、日本株式市場は、前月末の衆議院選挙で自民党が単独多数を獲得、月初に大きく上昇しました。中旬になって岸田総理が「成長と分配」を基本理念とする財政支出ベースで過去最大の経済対策を発表、企業の好決算を背景に株価が上昇を始めたところで、月末にオミクロン株拡大のニュースが広がり、大きく値を下げました。

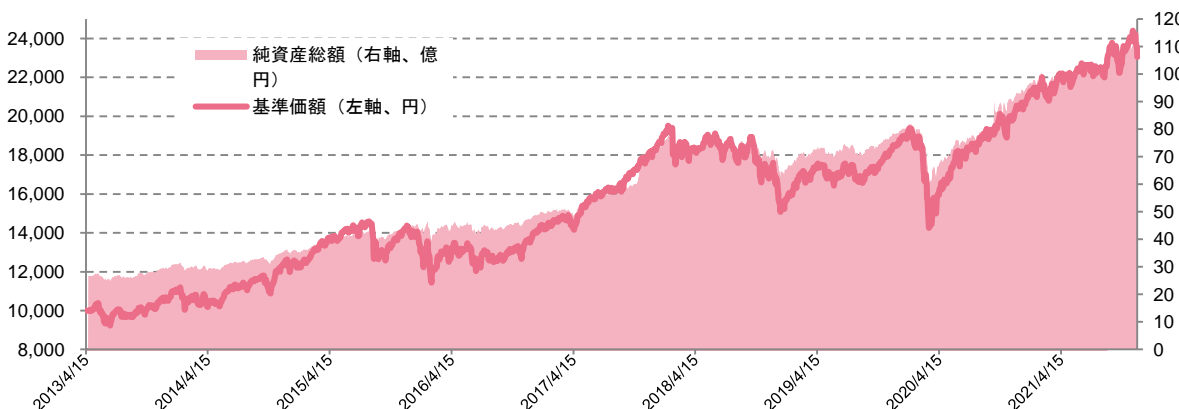
コードモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

【11月の運用コメント】

コムジェスト世界株式が貢献しましたが、日本の中小型株ファンドも下落、コードモファンドの基準価額前月比は、-2.24%となりました。12月初めには、下落していたコムジェスト・ヨーロッパを追加購入しました。今後も不安定な状況が想定されますが、積極的な運用を心掛けていきたいと思えます。

基準価額と純資産総額の推移



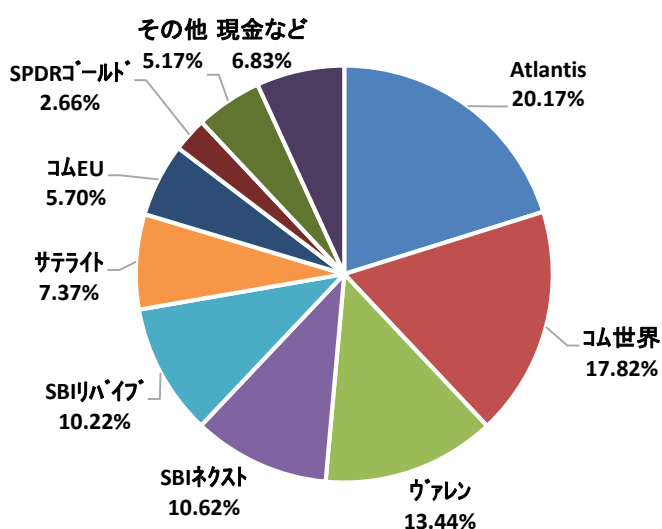
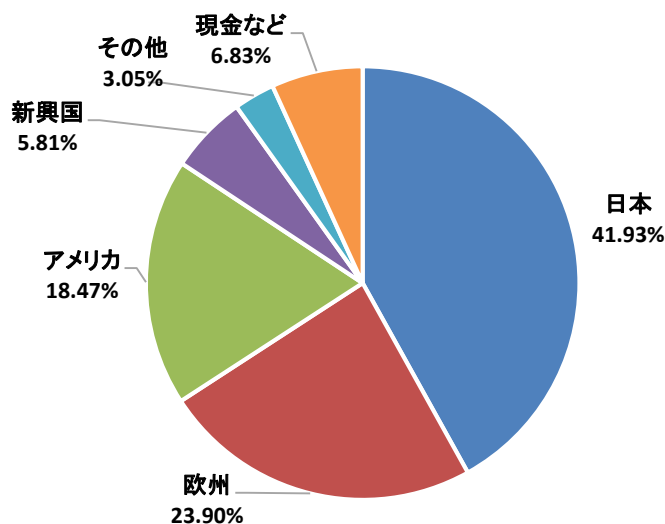
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

Atlantis	-1.43%
コムジェスト世界株式	-0.37%
ヴァレンS	-2.22%
SBIネクスト	-1.77%
SBIリバイブ	-5.44%

コードモファンド概況

基準価額	23,050円	信託期間	無期限
純資産総額	10,545百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全12本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-2.24%	1.60%	3.42%	13.61%	32.55% (複利年率) (9.84%)	130.50% (複利年率) (10.16%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

浪花おふくろファンド

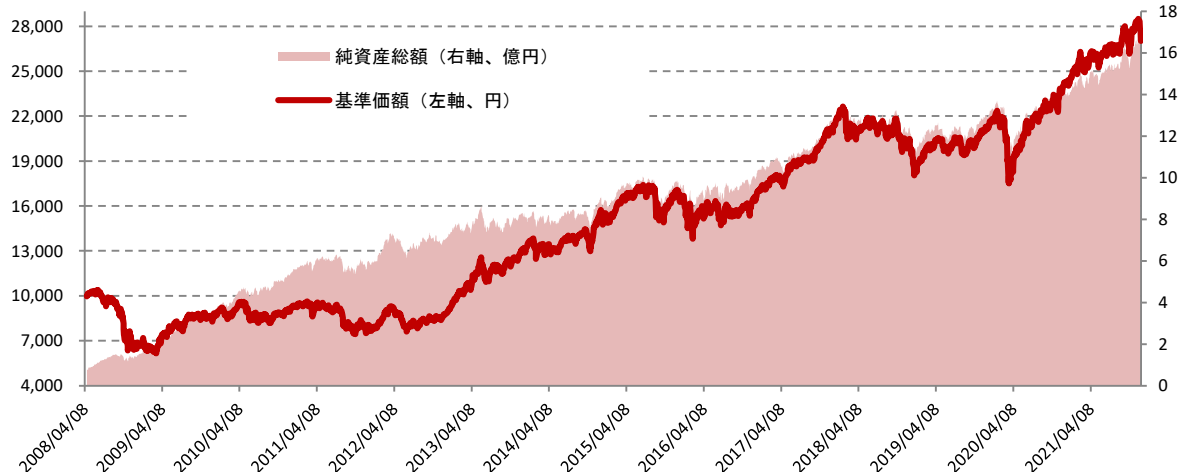
じっくりどっしり長期運用

【11月の運用コメント】

コムジェスト世界株式が貢献しましたが、日本の中小型株ファンドも下落、おふくろファンドの基準価額前月比は、-2.49%となりました。12月初めには、下落していたコムジェスト・ヨーロッパを追加購入しました。今後も不安定な状況が想定されますが、積極的な運用を心掛けていきたいと思えます。

基準価額と純資産総額の推移

組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

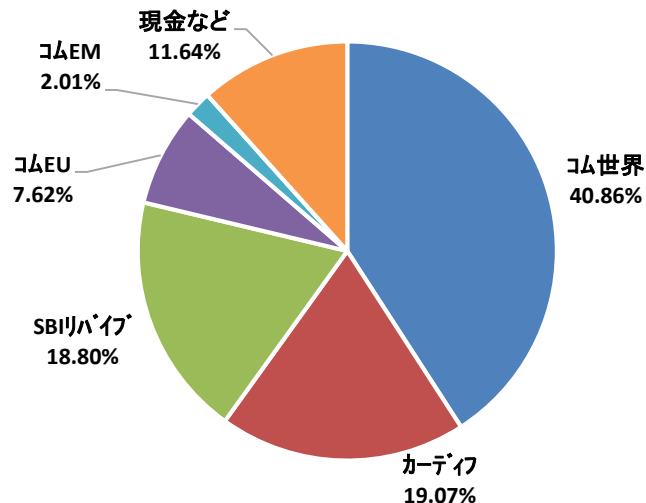
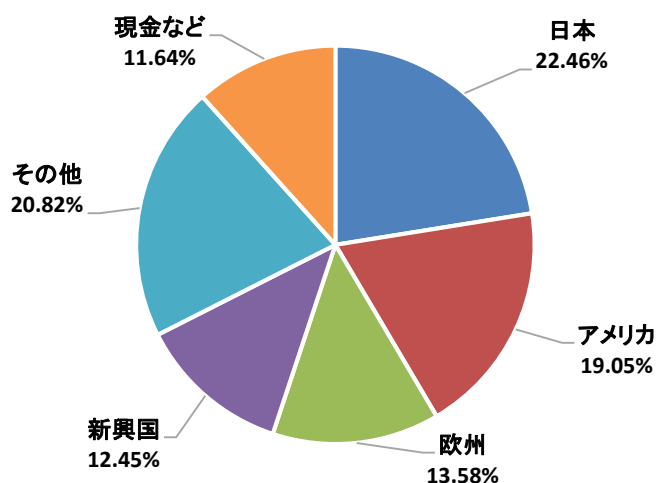


コムジェスト世界株式	-0.37%
カーディフ	-4.63%
SBI リバイブ	-5.44%
コムジェストヨーロッパ	-1.62%
コムジェストエマージング	-5.05%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	27,015円	信託期間	無期限
純資産総額	1,592百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-2.49%	0.59%	3.12%	12.24%	32.94%	170.15%
				(複利年率)	(複利年率)
				(9.95%)	(7.55%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) **年率0.99%(税抜き0.9%)**
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.32%(税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

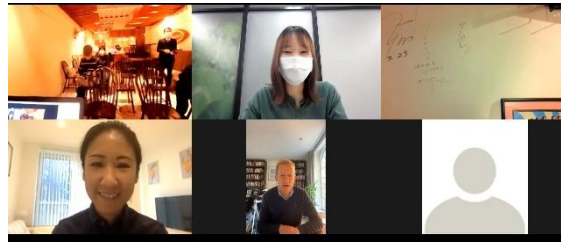
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバーフェイスブックから

クローバー長期投資セミナー

「英国人から見た日本企業の魅力2」

おふくろファンド組み入れのクープランド・カー



ディフジャパン&ファンド ジョナサン・ドブソン氏(ロンドン)にご登場いただきました。今回は、リアルルの会場を大阪心斎橋のパリミキ アメリカ村店に設置し、ロンドンと日本全国を中継しました。日本株全体が9月から急速に上昇する中、クープランド・カーディフジャパン&ファンドも急上昇、10月も日本株全体が冴えない中、よく健闘していました。

今回のドブソンさんのお話は、具体的な組み入れ銘柄の紹介。世界から見て遅れているDX分野の成長株を中心に、「ご説明いただきました。一旦、納得して組み入れたら長期保有、下がったら確信をもって買い増しする姿勢。もちろん経営者が替わって、次の世代の経営者の戦略に納得感がなければ、スバツと売ってしまうという大胆さ

Japan must play catch-up in areas where diffusion rates for services lag those of other developed countries

世界に比べた日本の「遅さ」に注目
先進国と比較して日本における普及率の低いサービス



で、行いました。大阪の皆さんとは、こうした形で会うのは1年半ぶり。会話が入り乱れて飛び交ってました。やっぱりいいですね。

たねころ山ツアー

クローバーホームページやセミナーでご案内いたしました。恒例のたねころ山ツアーを11月27日開催しました。参加者37名で、みんなで秋の伊豆の自然を楽しみました。車でお越しのお客様にもご協力いただき、伊豆急行線宇佐美駅まで皆さんをお迎えに行き、5分たねころ山農園へ。住宅街の細い道を入り急な坂を上ると農園内のオシャレなログ



ハウス前のロータリーに出ます。一気に眺望が開け、宇佐美湾が目の前。景色に感動しながら、ピザ窯周辺の本日のイベント会場まで5分ほど登ります。



11時30分 開会式、社長あいさつ、スタッフ紹介の後、第一回にご参加された堀さんに音頭を取っていただき乾杯。いよいよ宴の始まりです。食事のスタートは、樋口さんのスペシャルピザ。時間はかかりましたが美しく出来あがりました。ピザは、恒例のモツチリ生地にサラミ・

ブラックオリーブ、海鮮、最後は、クワトロフォルマツジ(四種のチーズ)にラム酒漬けのドライイチジクのデザート。ピザ、はちみつを軽くかけ回して食べていただきました。

食後のイベントは、まず、大木の一本を斧で切り倒す?こと。なかなか難しいですが、めったに体験できないので、と、ほとんどのの方が果敢に体験、そのあと実際には、チェーンソーで切り倒し、さらに倒れた大木をチェーンソーで薪の長さの輪切りにするのは、子供たちも喜んで体験してました。





次には、農園内ツアー。最近、子供たちのための体験会を何回かやっていて、今後本格的な設備を整えて、子供向けのイベントを拡大していこうという構想もあるようで、巨大デッキのテントやヒノキ風呂・サウナ(設置予定)など、

皆さんに新しいものが紹介されました。

最後は、2年前から取り組んできた、たねころ山の茶葉を使ったイベント。今春、参加者全員で茶摘みをして作った碾茶を半年熟成加工し、森さんが事前に挽いた抹茶を略盆点前でカメラマンお二人をおもてなし。皆さんがお茶を自身で点てる体験も実現しました。

×は、クローバーのイベントは、海外、国内問わず、すべて参加という中司さんにお願いました。

兵庫県の地元でボランティアで「子ども食堂」を運営されていて、「たねころ山みたいところで、思う存分大自然を楽しむ子供たちの笑顔、いいですね。これからも楽しみにしています。」とお話をいただきました。

来春は、5月ごろでしょうか。コロナが完全におさまってれば、50人規模で考えたいと思います。



「懐かしのLPレコード」

先日、たまたま私物を整理しようと思い実家に戻ったところ、色々懐かしいものが出てきました。その中の一つがLPレコードです。

写真は、私が幼少期にイタリアに在住していた時に購入したLPレコードです。

当時流行していたビートルズ、アバ、ディープパープル、ローリングストーンズなどの大衆アーティストのLPばかりですが、今となっては1970年代のレコードということで中々ジャケットに味があるものばかり。「処分しなくてよかったあ！」と喜びました。

幼少期の友達から誕生日プレゼントにもらったLPも見つかり、非常に懐かしく心暖かな気持ちになりました。

世間では音楽といえば、すっかりデジタルで聴くことが多くなり、私自身も専らスマホのアプリからしか音楽を聴いていなかったのですが、この年末はレコードプレイヤーを購入して、見つかったアナログのLPを聴きながらのんびり過ごしたいと考えております。

皆さまも健康にお気をつけて是非良いお年をお過ごしください。

また来年も宜しく願っています。



宇野隆一郎



編集後記

宇野さんの「LPレコード」の話、私も若いころ買い集めた井上陽水や吉田拓郎、泉谷しげるなどのLPをたくさん持っていたんですが、10年位前ですが、息子がウチにあった古いターンテーブルと共にゴツリ持って行ってしまいました。彼にとっては、新しい楽しみなんですよね。

ちょうど昨年12月から、この月次レポートの担当をしてきましたが、来月からは、若手の三浦君にお願いしようという回は一緒に作り上げました。読者の皆様には、今後三浦君から直接原稿依頼が届くかと思いますが、なにとぞよろしく願っています。

磯野



“クローバー 投資政策セミナー 2021.11 ”

12月17日(金)
18:30~20:00

京橋オフィスからの

- ・ ライブ配信セミナー
- ・ 対面セミナー

定員30名
定員15名

多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)
樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)



「クローバー新年会 大阪」

2022年
1月22日(土)
13:00~15:30

大阪 パリミキ
アメリカ村店での
対面セミナー

定員25名
【参加費用】2000円

ファンド仲間の交流会

飲み物と軽食をご用意致します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はあります。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

クローバーから大切なお知らせ

業務管理部からのお知らせ

【年末年始の休業について】

2021年12月31日(金)~2022年1月3日(月)

※年内に解約代金を受取るためのお手続きは、**12月23日(木) 15:00**が締切となります。

【投資信託説明書(交付目論見書) 交付のお知らせ】

「投資信託説明書(交付目論見書)」不交付の同意をされていないお客様を対象に、2021年11月下旬から「投資信託説明書(交付目論見書)」(コドモファンドは11月26日改訂版・おふくるファンドは12月4日改訂版)をクネコDM便またはメールにて交付いたしました。お取引の前には、必ずご一読ください。

なお、「お客様マイページ」にご登録いただきましたお客様は、マイページ上に交付しておりますのでご確認ください。

【投資信託説明書(交付目論見書)の電子交付(メールでの交付)について】

印刷した交付目論見書が不要の場合は、**電子交付サービス**をお申込ください。

※電子交付サービスの詳細は、「重要事項説明書 約款・規程集 第5編 電子交付サービス取扱規程」をご確認ください。

【交付目論見書『不交付の同意』について】

不交付の同意をされた場合、**交付目論見書改訂の都度、交付いたしません。**

ただし、投資判断に関わるような、**重要な変更がある場合には、交付いたします。**

また、**不交付の同意後でも、ご連絡いただきましたらいつでも交付いたします。**

※今後、**交付目論見書**について「**電子交付(メールでの交付)**」、「**不交付の同意**」をされるお客様は、**当社業務管理部までお電話にてご連絡ください。**

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、**2022年1月5日(水)**です。

2022年1月分金額変更・中止・再開締切日… **2021年12月21日(火)**

2022年2月分新規・口座変更締切日… **2021年12月29日(水)**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 (受付時間:平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp